

すすんでする子 こんきのよい子
やさしい子 かんがえる子

学校だより

金沢市立中村町小学校
平成30年度
No. 24
平成31年1月8日(火)

新年明けましておめでとうございます



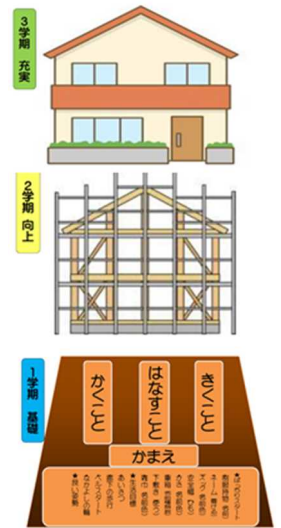
保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、新年をご健勝で迎えられたことと存じ、謹んでお祝いを申し上げます。

旧年中は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。子ども達の教育に、地域の方々、保護者の方々と共に取り組む学校であることに感謝の日々を過ごさせていただきました。今年も引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

3学期スタート！「充実」の毎日を！

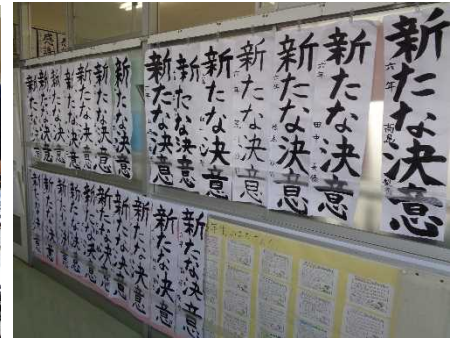
1月7日(月)に「充実」の3学期が始まりました。それぞれの学年の総仕上げです。子ども達には、集会等で、1学期「基礎」・2学期「向上」・3学期「充実」の積み重ねを、お家を建てることになぞらえて話をしてきました。各学年のめざす家の大きさは違ってきます。個々のめざす充実度も違うと思います。しかし、全員に各学年修了の自信をつけて次の学年へ進ませたいと思います。

そのために、昔から言われることですが、基礎・基本と言われる「読み・書き・そろばん」を大事にしたいと思います。例えば、平仮名・片仮名・各学年の漢字。また計算で言うと、1年生では、繰り上がりの足し算・繰り下がりの引き算、2年生では、かけ算九九でしょうか。基礎基本の定着には、繰り返し取り組むことが必要です。家庭学習でも、一緒に取り組んで頂き、その学年で自信をつけることで、次学年でも頑張る気持ちにつながりたいと思います。よろしくお願いたします。



書き初め会

1月7日(月)始業式後、各教室で書き初め会を行いました。どの学年も、静かな集中した雰囲気の中、緊張しつつ慎重に筆・鉛筆を運んでいました。子ども達の作品は、金曜日に持ち帰るまで、校内に掲示します。機会がありましたら、ぜひご覧下さい。



<お知らせ>

3学期、6年生に新しい先生が入りました。池田照男先生です。担任と一緒に卒業までの大事な期間の学校生活をサポートします。よろしくお願いたします。



今月の詩 ～12月「校歌」～

毎月、全校集会で「今月の詩」を子ども達に紹介しています。12月は、中村町小学校の校歌としました。室生犀星作詞の校歌は、市内他校でもありますが、統合により減ってきており、ますます貴重な校歌になると感じ、あらためて子ども達にも校歌について考えて欲しいと思ったからです。

まず、5月に、道徳の時間に一緒に勉強した2年生にもお手伝いしてもらって、歌詞の意味について話をしました。一題目は、中村町小学校の風景・様子について、二題目は、卒業生のふるさと・母校を思う気持ちについて、三題目は、中村っ子の未来について書かれています。しかし、室生犀星さん自身の校歌に対するコメントや思いを見つけることはできていないので、校歌の意味や云われは、詳しくわかりません。保護者の皆さんや地域の方々でご存じの方がいらっしゃったら、ぜひご連絡をください。

他に校歌制定に関わった方々の思いを下記創立五十周年記念誌を参考に紹介しました。

＜三代校長の思い＞ ～S25.6.20付 「校報」創立記念日を迎えての文中より～

— (前文略) — 全校児童が歌う“合同音楽”のよい歌曲がほしい。それは、かねてからの深い望みであった。特に、新時代にふさわしい新しい感覚をもった校歌、それは子ども達の生活を豊かにする上からも切なる願いであったが、この春に郷土の大詩人室生犀星先生から本校の校歌として、まことに美しい詩をいただいたことは、この上ない喜びであったのである。

曲譜は金沢大学 佐々木宣男先生の快心の作、気品に富む旋律の美しさは、よく詩ととけ合っていて、すぐれた音楽美が存分に歌い出されている。開校記念日を迎えて、心ゆくまで歌う子ども達の美しい歌声 なんとうれしいことであろう。 — (以下略) —

＜作曲者 佐々木 宣男さんの思い＞ ～S25.6.20付 「校報なかむら」より～

従来の校歌には、裏の山や前の川などの音を唱ったり、無暗に力むような語句を入れることが常であったと思いますが、この室生犀星先生の作歌にはそうした詩句がないので、或は日本のどこの学校の校歌であってもよいようにも、一応見えるようです。然し、こうした詩の中にむしろ校歌としてのすぐれた風格があり、誠に得難い良さがあると考えます。郷土出身の大詩人、その人格に日毎触れてゆくことは誠に大きな意義があり、子ども達の心情は美しく育まれてゆくことでしょう。

校歌の作曲にはいつも苦勞するのですが、今度は実に流れ出るように旋律を得ましたことは不思議な位であって、今までの作曲中最も気持ちよく美しく出来たと思っています。それは偏に、室生先生の完成された美しい詩が、導いてくださったことと信じています。

詩の一句一句からも、全体からも平和を憧憬する心と、母校愛の気持ちが溢れていますので、それを十分に曲に表現するように努めたつもりです。第二節の歌詞には特に短調(短音階)による旋律を附して、詩の感激を一層深めたいと考えました。とも角も、全体として、変化と優美さと澁刺さを十分に維持しているものと自負して居ります。

なお作曲に際しては、立野校長先生の卓抜な意見も大いに参考になって幸いでした。終わりに、中村校の前途幸多からんことを祈ってやみません。

1月13日(日)に行われる中村町公民館成人式では、中村っ子の代表が参加して校歌を斉唱します。成人式でこのような取り組みがあることに二題目の思いが表れており、中村町小学校が地域の皆さんの母校であり大事にされていることを改めて感じています。



また、校章についても調べたのですが、その意味や云われについての標記は見つかりませんでした。犀川の桜?校庭の桜?と朝日が昇るデザインでしょうか。色も、校旗は銀の刺繍ですし、幔幕は濃紺に青の校章です。何か、ご存じの方がいらっしゃいましたら教えてください。

1月の詩は、「金沢子どもかがやき宣言」と「すこやか」について、6年生に手伝ってもらって話をしました。どんな話だったか、ぜひ、聞いてみて下さい。